

# 週刊センターニュース No.217



第 217 号 (2008 年 7 月 28 日) 毎週月曜日発行  
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター  
URL: [http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou\\_rche/index.htm](http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm)

## 共同学習会のご案内

第 191 回から第 193 回までいずれの共同学習会も、通常の曜日と異なります。また、第 191 回については通常の会場と異なりますので、ご注意ください。

### 第 191 回

日時: 7月30日(水) 16時30分～18時

会場: 角間キャンパス総合教育 2 号館5階D14教室

(双方向遠隔授業システムにより富山大学、福井大学を結んで行います。)

司会: 西山宣昭(大学教育開発・支援センター)

テーマ: 「3 大学共同開講共通教育科目「北陸学総論」の今年度の授業内容について」

趣旨: 昨年度より開講している共通教育科目「北陸学総論」について、今年度の授業担当者による授業内容についての検討を公開で行う。この科目は、富山大学、福井大学、金沢大学の教員が共同で担当し、双方向遠隔授業システムを用いて授業が行われる。産業、歴史、文学、自然科学の各分野から見た北陸がその内容となるが、分野間の関連性の有無を担当者間で確認し、今年度の授業内容を確定する。昨年度の授業に基づく双方向授業に特有の課題についても意見交換する。

### 第 192 回

日時: 8月1日(金) 16時30分～18時

会場: 角間キャンパス総合教育 1 号館2階大会議室

司会: 瀬川忍(FD・ICT教育推進室) 末本哲雄(大学教育開発・支援センター)

テーマ: FD・ICT教育推進室活動紹介 - 授業実践とアンケート分析 -

趣旨: 金沢大学FD・ICT教育推進室の活動の一環である「一歩進んだPC活用講座」における学生のICT活用スキルアップ実践と、全学利用を進めているアカンサスポータル利用履歴分析について紹介させていただく。

### 第 193 回

日時: 8月4日(月) 16時30分～18時

会場: 角間キャンパス総合教育 1 号館南棟2階大会議室

発表者: 青野 透(大学教育開発・支援センター)

テーマ: 金子元久『大学の教育力—何を教え、学ぶか』(ちくま新書、2007年)を読む

趣旨: FDをどう実践するかを考えるためには、大学とは何かについての基礎知識が必要である。本書は、大学の歴史も含め、学問的に分かりやすく解説し、日本の大学の教育における課題の提示も行っている。持続可能なFDを求めるための起点を提供してくれるこの書を、ともに読むことを試みる。

## アカンサスポータルの展開と金沢大学 ID

平成 18 年度新入生からノート PC 必携に伴いサービスを開始したアカンサスポータルですが、3 年目に入りで現在の 3 年生までは、必携 PC を所有し、「情報処理基礎」でアカンサスポータル利用について説明を受けているので、共通教育科目だけでなく、専門科目においてもアカンサスポータルが徐々

に利用されるようになってきています。FD・ICT 教育推進室としては、アカンサスポータルのサービス範囲をさらに広げ、全学的に利用者を増やすことを目指して、新機能等の開発を進めています。

現在、アカンサスポータルを利用することで、シラバス、履修関連等の学務系情報、学習管理システムと連動した授業関連情報、保健管理センターと連動した健康診断結果へのアクセスが可能です。また、アカンサスポータルは、学生と教職員のコミュニケーションツールとしてのお知らせ機能、メッセージ機能も備えています。これらの機能の一部は携帯電話にも対応しています。さらに来年度からは、図書館関連サービス、就職支援関連情報ともシングルサインオンでつながる予定です。シングルサインオンとは、最初にアカンサスポータルにログインすれば、その後は改めて ID、パスワードを確認されることなくシームレスにサービスを利用できる仕組みで、今後、学内の認証が必要な各種システムへの展開を検討しています。また、学内各所に設置されている電子掲示板の一部にもアカンサスポータルと同じ情報が表示される予定です。

これらのアカンサスポータルのサービスを使う際に必要となる ID として、金沢大学 ID を導入することになりました。平成 20 年度からの新入生に対して金沢大学 ID を割り当てて使っていただくことについては、すでに教育企画会議、情報企画会議において報告させていただいています。昨年度までの入学者はアカンサスポータル利用時の ID として学籍番号を使っていますが、彼らに対しても固有の金沢大学 ID はすでに割り当ててあるので、いつでも切り替えは可能です。

この金沢大学 ID は、学籍番号とは異なり、入学時から、卒業後まで使える ID で、転学類、卒業、就職、大学院進学、金沢大学職員への採用等によっても変わらない一意の ID です。教職員（現時点では、一部の教員に割り当てて配布しています）についても、シングルサインオンの機能を活かして、今後、アカンサスポータル経由での学内各種サービス利用のために金沢大学 ID の展開を検討したいと考えています。また、学籍番号が振られる前に割り当てることにより、入学前教育にもアカンサスポータルの利用が可能となります。入学前（入学決定者）、在学生、卒業生、教職員を対象とした金沢大学関係者に向けて、大学からの情報発信、大学とのコミュニケーションを中心としたサービスを無償で提供することにより、金沢大学コミュニティ形成を目指していきたいと考えています。

これまで、国立大学では卒業生まで含めたコミュニティ形成はあまり熱心に考えられてきませんでしたが、今後は、在学生、卒業生、教職員、地域社会、関連企業等を巻き込んだ形での大学コミュニティは学内外での大学の活動にとって重要なものとなると思われます。ちなみに、私立大学の雄である、慶応大学、早稲田大学では、以下のようなサービスをすでに始めています。

慶応大学(<https://www.jukuin.keio.ac.jp/index.html>)

慶應義塾は 2001 年 4 月から、インターネットを利用した卒業生向けの新たなサービス、「慶應オンライン」を開始いたしました。このシステムの目的は次の通りです。

1. 卒業生が卒業後も慶應義塾との絆を保ち、Web 上での住所変更やメールマガジンなど、慶應義塾のサービスをどこにいても 24 時間受けられるようにします。
2. グローバル社会で活躍する卒業生同士が、時間や場所の制約を受けることなくネットワークコミュニティを形成し、生涯を通じて互いの絆を保てるようにします。

早稲田大学(<http://tomon.waseda.jp/tomon-com/guide.htm>)

早大の校友（卒業生）は生涯アドレス（Waseda Net-ID）を無料で発行してもらえる。この生涯アドレスがあれば、卒業生と在学生の交流サイト「稲門コミュニティ」を利用できる。稲門の仲間が集う掲示板やメーリングリスト、早大関連情報を伝えるメールマガジンなどの機能が使える。連絡をとりたい相手を探し出せる「校友検索」機能も用意した。検索結果は学歴と氏名だけが表示され、メールアドレスを見せずにメールをやりとりできる「私書箱メール」で、個人情報漏れるのを最低限に防ぎつつ、旧友や先輩・後輩とコンタクトが取れる仕組みだ。

最後に、繰り返しになりますが、金沢大学においても金沢大学 ID をキーとして同様のサービス提供、コミュニティ形成を視野に入れ、金沢大学 ID の展開、アカンサスポータルのサービス充実をさらに進めていきたいと考えています。

（文責 評価システム研究部門 堀井祐介（全学 FD・ICT 教育推進室実務委員会委員長））